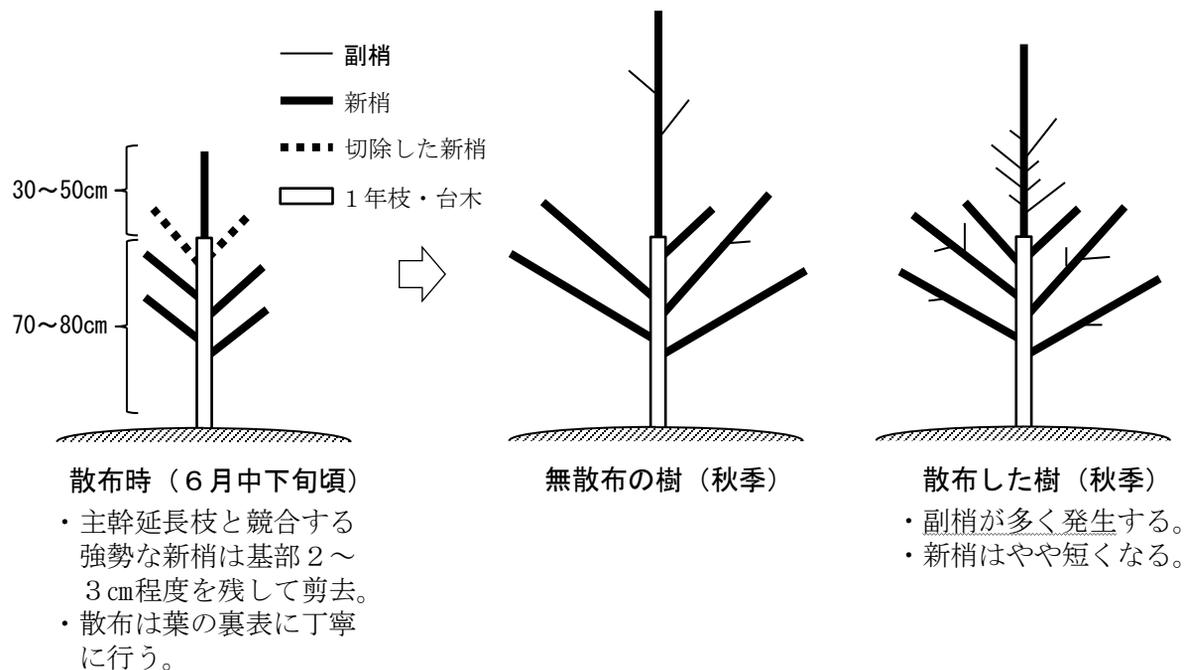


おうとう「ジュノハート」苗木に対するベンジルアミノプリン液剤  
(ビーエー液剤)による副梢発生促進技術

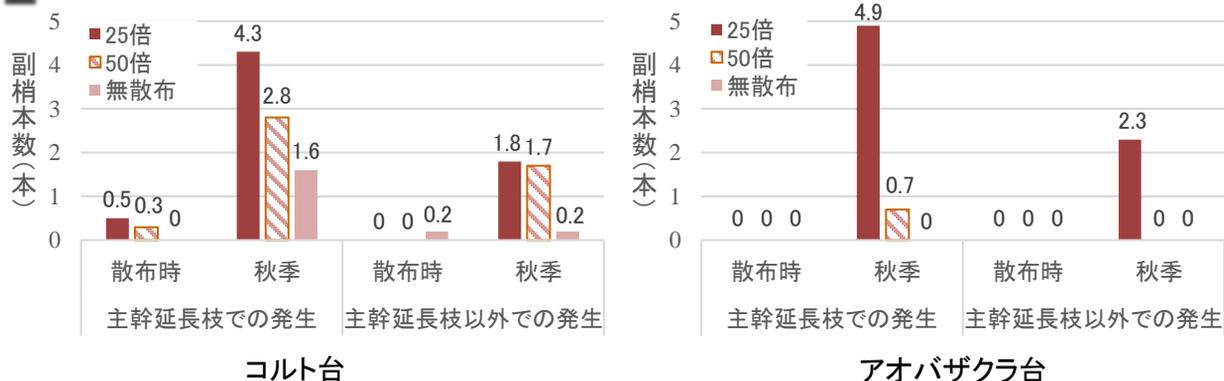
りんご研究所で育成したおうとう「ジュノハート」は枝の発生が少ない点が問題となっています。そこで副梢発生促進効果のあるベンジルアミノプリン液剤（ビーエー液剤）の効果を検討したところ、実用的な使用法が明らかになったので紹介します。

ベンジルアミノプリン液剤（ビーエー液剤）の使用法

使用対象	散布濃度	使用時期	使用方法	展着剤
ジュノハート (苗木) ※未結果樹で使用	25倍	新梢伸長時(主幹延長 枝の30~50cm伸長期) ※例年6月中下旬	立木全面散布	不要



1年生苗木における処理濃度別の副梢発生促進効果（令和2年）



◆ ベンジルアミノプリン液剤（ビーエー液剤）は農薬登録上の希釈倍数は25~50倍ですが、50倍では副梢の発生が少ない場合があります。安定した効果が期待できるのは、25倍での散布になります。